



汚染牛肉の問題など、急ぎ対応

放射性物質に汚染された食品が相次いで問題になっています。原発事故の直後には、牛乳、水道水、野菜などが主に放射性ヨウ素に汚染されている実態が明らかになり、食品衛生法上の暫定規制値を設け、出荷制限などを行いました。その後、新茶が一部問題になった後、今度は放射性セシウムに汚染された牛肉がかなり市場に出回っていることが明らかになり、多くの国民を不安に陥れました。

稲わら、肉牛という農畜産物としては農水省の所管ですが、食品となると厚生労働省です。細川大臣を先頭に厚労省は連日官邸や農水省を交え協議を続け、出荷制限や、解除の際の検査体制などを、政府全体として決定しました。従来、「市場に出ている食品は安全です。」と言ってきたところですが、暫定規制値を超える食品が出回っていること自体、政府の責任は大きいと言わざるを得ません。今後、こうしたことが起こらないよう、従来にも増して、きめ細かい検査体制を築かなければなりません。

第2次補正予算成立

通常国会は7月に入ってから、第2次補正予算案の審議、復興特別委員会での震災関連法案の審議などが順調に進みました。第2次補正予算は、昨年度の剰余金、約2兆円を原資とし、東日本大震災の当面の復旧対策に充てるもので、原発事故

の損害賠償や二重債務対策が主な内容です。

予防接種法成立

厚生労働委員会も波乱なく法案審議、あるいは一般質疑が行われました。

昨年の通常国会から継続審議となっていた「予防接種法及び新型インフルエンザ予防接種特別措置法改正案」は、7月15日、全会一致で参議院を通過し成立しました。この法案で、新たな新型インフルエンザの流行に対処できるようになります。



予防接種法案が衆議院厚生労働委員会で可決された際、委員に挨拶をする細川大臣と大塚副大臣（7月8日）

年金確保支援法も

もう一つ、昨年の通常国会に提出された後、秋の臨時国会において衆議院で修正可決され、参議院に送られたまま継続審議となっていた「国民年金及び企業年金等による高齢期における所得の

確保を支援するための国民年金法等の一部を改正する法律案」(通称「年金確保支援法案」)も、7月下旬、参議院で審議入りし、可決後衆議院に再び回付され、8月4日、本会議で可決・成立しました。

この法案の主な内容は次の2点です。第一は、高齢期における所得の一層の確保を支援するため、国民年金について徴収時効(2年)の過ぎた一定期間(10年)にさかのぼって本人の希望により保険料を納付することを可能とすること、第二に、確定拠出年金の企業型年金加入者が自ら掛金を拠出できる仕組み(マッチング拠出)を導入するなど企業年金制度等を改善することなどです。特に、あと少し保険料を納めれば年金を受給できる人にとっては、待望の法改正でした。

歯科口腔保険法

議員立法では、前号でご紹介した3法案に続き、「歯科口腔保健推進法」が成立しました。この法律は、歯科疾患を予防し、口腔の健康を保持するためのもので、基本理念や基本施策を定めるものです。この法案については、民主党が野党時代から類似の法案を提出していたもので、このほど自民党の提案も踏まえ協議が行われ、参議院委員長提案で成立しました。

労働者派遣法など

厚生労働委員会で継続中の法案では、労働者派遣法改正案だけが残っています。この法案については野党の反対が強く、いまだに審議入りの目途が立っていません。

また、子ども手当については、民自公3党の協議を踏まえ、法案化する予定です。

年金については、国民年金の2分の1を国庫から支出するための法案が審議入りしていません。これは、必要な2.5兆円を1次補正予算で震災の復旧の経費に充てたため、その財源が確定していないことによります。細川大臣としては、第3次

補正予算の際に復興債を出すなどして、この穴を埋め、年金積立金を流用せず、将来の年金給付をしっかりと確保しなければならない、と主張しています。

もう一つは、震災前に大きな問題になった主婦年金の件です。大臣の判断で運用を止め、法律を作り対処すると決めましたが、目下法案を策定中で、早急に国会に提案する予定です。

さまざまな要請を受ける

国会開会中は委員会審議が中心の毎日ですが、その合い間で、いろいろな団体の方々と面会し、要請を受けます。現在もっとも多いのが、被災地の自治体の皆様です。また、食品の放射性物質による汚染問題でも生産者の皆様からの声を聞きました。また、そのほかの面会希望も多く、なかなかお受けできないのが実情です。



中国残留邦人の代表と面会する細川大臣(7月11日)

細川律夫より一言

国民の生命と健康を守る
厚生労働省、食品の安全、安心
は大変な仕事です。安心して
おいしい牛肉を食べることを
できるように対策に全力を尽くし
てまいります。暑さか更に厳しく
なります。御自愛下さい。